

建学の精神

東北学院の三校祖、押川方義、W・E・ホーイ、D・B・シュネーダーは、東北学院の建学の精神を、宗教改革の「福音主義キリスト教」の信仰に基づく「個人の尊厳の重視と人格の完成」の教育にあるとした。

その教育は、聖書の示す神に対する畏敬の念とイエス・キリストにならう隣人への愛の精神を培い、文化の発展と福祉に貢献する人材の育成を目指すものである。

スクールモットー

「LIFE LIGHT LOVE」

東北学院の「建学の精神」を象徴するスクールモットー、「LIFE LIGHT LOVE」とは、イエス・キリストの「命(いのち)」・「光(ひかり)」・「愛(あい)」を指します。キリストの命が私たちに与えられ、キリストの光が私たちを照らし、キリストの愛が私たちを包んでいます。それゆえ私たちがまた人々の命のために仕え、人々に光を与えるために働き、人々を自分のように愛するのです。これは聖書を根拠にした本院に関係するすべての人々に対する教えであり、本院の創設時から大切にされてきた言葉です。

LIFE (いのち)とは、有限な生命体の命と、神が自らの似姿として創造された個人の尊厳を互いに大切にすることです。

LIGHT (ひかり)とは、学問や科学の成果によって新しい時代を切り開くことです。

LOVE (あい)とは、隣人愛をもって地域や世界に仕えることです。

東北学院教育の基本方針

東北学院は創立以来、本法人に所属する各教育機関において一般の教育・研究活動と共に福音主義キリスト教に基づく宗教教育を一貫して行ってきた。

今後ともそれぞれの教育機関は、正規の学校行事としての礼拝と正課必修としてのキリスト教教育を不変のこととして実施していくものとする。

学校法人東北学院の経営理念

学校法人東北学院は、建学の精神の堅持を根本理念とし、次の三つの基本方針により教育事業の経営にあたる。

1. 教育事業を安定的に持続させる経営
2. 社会的に適切と評価される経営
3. 社会に対して説明責任をはたす経営



TG Grand Vision 150

東北学院中長期計画 及び 第Ⅱ期中期計画 (2021～2025年度)

 学校法人 東北学院

東北学院大学
東北学院中学校・高等学校
東北学院榴ヶ岡高等学校
東北学院幼稚園

TG Grand Vision 150 及び第II期中期計画策定にあたって

少子高齢化による人口減少社会の到来は私立学校の存続の危機をもたらしています。2019年の学校基本調査によれば、18歳人口は2024年に、15歳人口はその3年前2021年に底を迎えます。とりわけ東北地方の人口減少率は他の地域よりも大きく、その影響は大きいものがあります。

また、現代は「VUCA (Volatility, Uncertainty, Complexity, Ambiguity)」の時代と言われています。先を見通すことがいよいよ難しい時代になったのです。そうした時代であればこそ、まさに変わる事のない強固な建学の精神に基づく一貫した教育方針を持つ私立学校の強みがそこにあるはずです。それゆえに、建学の精神の基盤の上に中長期計画 (Vision) を提示し、それに基づく行動 (Action) を起こしていくことが必要であり、求められているのです。

すでに東北学院は、創立130周年の年に中長期計画「TG Grand Vision 150」を内外に公表し、創立150周年を目指した歩みを進めています。その計画では、「ゆたかに学び 地域へ世界へ ~よく生きる心が育つ東北学院」というビジョンの下、20年後の2036年の創立150年の東北学院の姿を明確に示し、そこに至る20年間のロードマップを提示しています。20年間を5年ごとの4期に区分し、それぞれの期における全体及び各部門の達成目標を明示し、その実現に向けた全体及び各部門の年度ごとの実行計画 (重点項目) を策定し実行しています。

第I期の実行計画の最終年には、第I期中期計画の総括と全体計画の見直し、そして第II期計画の策定が法人の企画委員会において進められてきました。このたび提示する第II期中期計画は、意識改革、明確な目標設定、PDCAサイクルの「見える化」をキーワードに策定されています。まず最大のポイントはスクールモットーの確定です。東北学院としてのアイデンティティを確立するために、スクールモットーを「LIFE LIGHT LOVE」としました。また、2021年度からスタートする第II期中期計画は、第一に、東北学院の将来像をより明確化し、実現のための数値目標を設定したこと、第二に、各設置学校の特色を明確化・先鋭化するために特定プロジェクトを設定し予算化したことです。教育の質向上に向けて、基本的なことを着実に実行しながら新たな課題に果敢に挑戦していく姿勢こそが求められ、そうした努力が教育の質保証を担保することになります。まさに中長期計画TG Grand Vision 150は本院の生き残り戦略を示すものに他なりません。したがって、本院としては建学の精神に立脚し、継続性・法令遵守・説明責任という3つの経営理念を堅持しつつ、経済合理性に基づく運営を心がけ着実に遂行してまいります。

「魅力ある東北学院」像をもって本院のプレゼンスを高め、社会から「選ばれる学校」として持続的発展を実現すべく、本院のスクールモットー「LIFE LIGHT LOVE」の下に強いアイデンティティに支えられた教職員の一丸となった主体的・積極的な協力・貢献を心から願うものです。



学校法人東北学院
理事長 原田 善教

I.TG Grand Vision 150 (東北学院中長期計画)

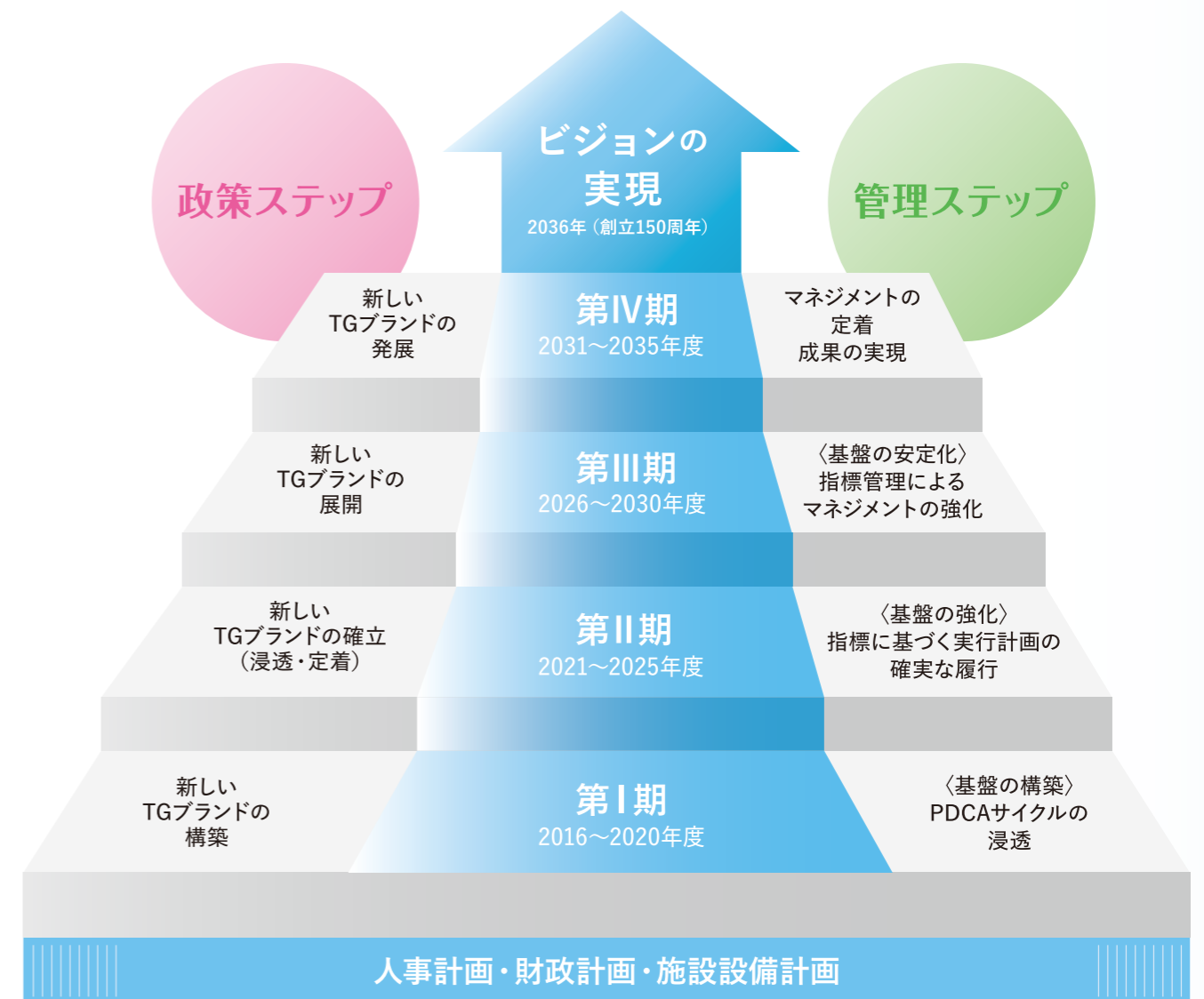
東北学院は2036年の創立150周年を見据えた「TG Grand Vision 150」を策定しています。TG Grand Vision 150では長い歴史のなかで受け継がれてきた建学の精神であるキリスト教人格教育を踏まえ、本院全体で掲げるスクールモットーを「LIFE LIGHT LOVE」に統一し、到達すべき目標をビジョンとして決めました。ビジョンを実現するために法人事務局及び各設置校が達成すべき将来像を掲げ、期間全体 (20年) のなかで5年ごと (第I~IV期) に中期計画を策定し、事業を展開してまいります。

ビジョン (法人全体における2036年の将来像)

「ゆたかに学び 地域へ 世界へ ~よく生きる心が育つ東北学院」

このビジョンは、学生、生徒及び園児に「建学の精神」が示す「キリスト教による人格教育」を基礎とした柔軟かつ幅広い視野で物事を捉える力を「ゆたかに」教授することにより、地域ひいては世界へ奉仕し、貢献する人材が育つことを期待するものです。このことは、今日の最先端の学問だけでなく、人格教育を受けることが、より「よく生きる」ために欠かせないことを意味します。

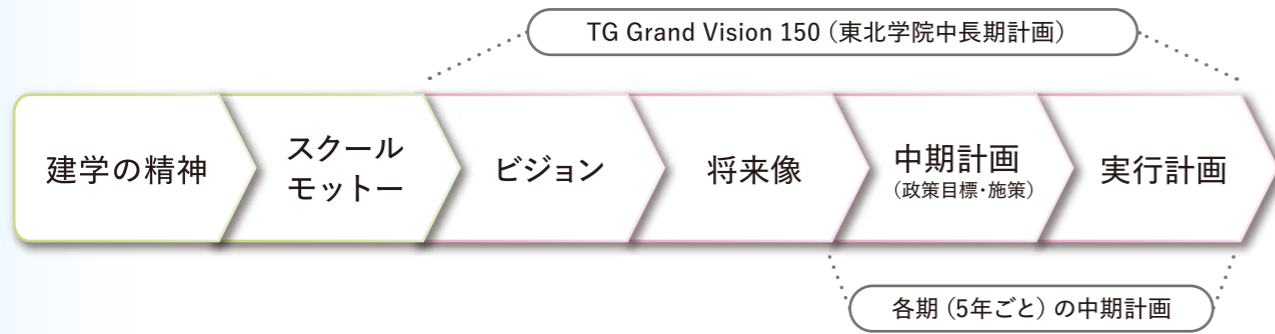
ビジョンの実現に向けた「政策ステップ」及び「管理ステップ」



※外部・内部環境の変化により、一年毎の点検・評価、各期毎の検証・見直しを行いながら柔軟に対応していく

計画全体の考え方(建学の精神から実行計画までの一貫性の保持)

TG Grand Vision 150では、建学の精神とスクールモットーを踏まえたビジョンの実現に向けて、目標の最上位となる建学の精神から各部署等が取り組む実行計画に至るまで一貫性を持たせています。



II. 第II期中期計画

基本原則

TG Grand Vision 150の確実な実行、達成を目指すために、第II期中期計画では以下の5つの原則のもと、計画を実施します。

I 東北学院ブランドアップに寄与する計画

将来像を踏まえ、本院のブランドアップに寄与し、重点的に取り組むべき計画について各期において見直しを図り、計画(政策目標・施策)を策定する。

II 定量的・定性的に評価できる指標による達成度・進捗度の可視化

将来像を確実に実現するために政策目標・施策を策定し、第II期(5年)で達成と判断できるゴールを評価できる指標(重要目標達成指標:Key Goal Indicator)¹を設定する。また、政策目標・施策のもとに各部署等が取り組む実行計画についても指標(重要業績評価指標:Key Performance Indicator)²を設け、進捗管理等を行う。

III 人事計画、財政計画及び施設・設備計画を踏まえた各設置校の計画との連動

「学校法人東北学院の経営理念」の実現を図るため、上記3計画を法人全体の計画として掲げ、各設置校においてその方向性を踏まえた具体性のある実行計画を策定し、計画の確実な実行、達成に繋げる。いずれの計画もTG Grand Vision 150及び中期計画と計画期を統一し、実行性を高める。

IV 予算編成との連動強化

中期計画の実行性を担保するために予算編成方針との連動を強化する。

V 実施主体部署の設定

第II期中期計画を確実に実行・達成するために、各施策に対して実施主体部署を設定した。これにより、各期(5年間)の中で取り組む実行計画は実施主体部署が実行することとする。

¹ KGI(重要目標達成指標/Key Goal Indicator) : 計画期間における「最終的な成果」を数値で表した指標

² KPI(重要業績評価指標/Key Performance Indicator) : 目標に向けた活動の進捗・達成状態を計るための数値で表した指標

領域ごとの基本方針

ビジョン及び将来像の達成を目指し、学校法人東北学院(法人事務局)及び東北学院大学は、各期の計画の柱となる領域を第II期中期計画から「教育・研究」、「社会貢献」及び「管理運営」の3つに再編し、以下の基本方針に基づき、各期において具体的な事業を展開します。

なお、東北学院中学校・高等学校、東北学院榴ヶ岡高等学校及び東北学院幼稚園については、領域の設定は行わず、将来像の達成に向けて、建学の精神に基づく特色ある教育活動をはじめ、法人事務局と連携した施設設備計画及び人事計画等の策定・実行に重点をおいた事業を展開していきます。

| | 領域 | 基本方針 |
|--|-------|---|
| 学校法人東北学院 (法人事務局) | 教育・研究 | ①長期計画に基づき、設置校の快適なキャンパス及び教育・研究環境を実現する。 ②東北学院が有する歴史的建造物の有効活用を図る。 |
| | 管理運営 | ①職員、在校生及び卒業生の本院への帰属意識が高まる活動を行う。 ②変革の時代に対応できる職員を育成するための人事政策を推進する。 ③教職員がそれぞれの能力を十分に発揮できる環境を整備し、働きがいのある職場環境を実現する。 ④安全な教育・研究環境を維持するために危機管理体制を確立する。 ⑤堅実な経営基盤の維持・向上のために財政計画を確実に実行する。 |
| 東北学院大学 | 教育・研究 | ①建学の精神を体現する人間的洞察性に優れた人材養成及び専門性の高い学びを実現するために、全学的な教養教育基盤の整備による教養教育を行う。 ②社会的課題や産業界のニーズに対応できる人材を輩出するための教育を行う。 ③学生の資質・能力を向上させるために、グローバル化に対応した教育及び留学プログラムを支援する。 ④充実した学生生活を送るために、課外活動や学生相談等の支援機能を確立する。 ⑤研究体制及び環境を整備し、研究活動の活性化を推進する。 ⑥教学マネジメント体制を確立し、社会に対して説明責任を果たす。 |
| | 社会貢献 | ①多様な年齢層への生涯学習の機会を提供する。 ②地域社会、産業、行政との連携により社会的課題に対応する事業を実行する。 |
| | 管理運営 | ①ガバナンス機能を強化し、効率的な組織運営を行う。 ②教育活動をより活性化させるための環境整備を行う。 |
| 東北学院中学校・高等学校 東北学院榴ヶ岡高等学校 東北学院幼稚園 | | ①建学の精神に基づく特色ある教育活動を行う。 ②大学との連携を強化し、大学の学びに触れ、多様な年代と交流することにより幅広い視野を持つ生徒・園児を育成する。 ③教育活動を支えるための快適な教育環境の整備及び人事体制を確立する。 |

第Ⅱ期中期計画政策目標一覧

設置学校

将来像(新しいTGブランド)

学校法人
東北学院
(法人事務局)



建学の精神に基づく各設置校の教育を持続的に
行い、柔軟で効率的な組織と安定した経営基盤を
構築する。

東北学院大学



建学の精神に基づく教育により人格が涵養され、
地域に貢献する高度な教養と専門的な知識・能力
を兼ね備えた人材を輩出する私立総合大学となる。

東北学院
高等学校
・
中学校



建学の精神に基づく教育を通して、自ら考え自ら
判断できる力を養うとともに、ミスを恐れずチャレン
ジする生徒を育てることによって地域の信頼を得、
地域をリードする学校となる。

東北学院
高等学校
榴ヶ岡



建学の精神に基づく教育のもとで、個々の目標
に応じた教育活動が的確に行われる「学びたい・
入りたい」高校として社会に評価される学校となる。

東北学院幼稚園



キリスト教教育の下、イエス・キリストとの交わり
に支えられ、今の時を喜びと感謝をもって生き、聖
書のみ言葉より生涯にわたる生き方の基礎を培
い、隣人と共に生きる社会を作る人間としての基礎
を育む幼稚園となる。

政策目標

〈教育・研究〉

- 建学の精神の浸透による、よく生きる心を有する人材の育成
- 長期的計画に基づく設置学校の教育・研究環境の整備・充実
- 歴史的建造物を有する学問の府のイメージの深化によるブランド力の向上

〈管理運営〉

- 志願者数を増加させる施策の導入による、高い能力と意欲を持った学生の確保
- 在校生・教職員及び卒業生の愛校心及びブランド力の向上
- 合議体による意思決定の仕組みの見直し及び整理統合による迅速な意思決定の推進とガバナンス体制の改善
- 教職協働による教員の教育・研究の質向上と職員の高度化のための人事政策の推進
- 職場環境改善による教職員の活性化(教育・研究活動の活性化・業務の改善・創造)
- 危機管理体制の強化
- 教育・研究活動を維持・発展向上させるための安定的な財政基盤の構築

〈教育・研究〉

- 学位授与の方針に掲げる知識と能力を兼ね備えた人材を輩出するための教育内容の充実
- 建学の精神の浸透による、よく生きる心を有する人材の育成
- 国際化の推進による、グローバル社会に通用する人材の育成
- 研究体制の整備及び研究活動の活性化による独創的かつ先進的な研究の創出
- 建学の精神を基礎とした学位授与の方針に即した効率的かつ効果的な教育の実施
- 学生支援の充実による、入学から卒業まで安心できる学生生活の確保

〈社会貢献〉

- 地域の課題解決を図る社会貢献型事業の展開による、地域の持続的発展への貢献
- 生涯の学びの場を提供することによる地域社会の多様な学修意欲の喚起
- 学生と地域社会との積極的な交流による、豊かな人格形成と地域社会との信頼関係の構築

〈管理運営〉

- 長期的計画に基づく設置学校の教育・研究環境の整備・充実
- 志願者数を増加させる施策の導入による、高い能力と意欲を持った学生の確保
- 在校生・教職員及び卒業生の愛校心及びブランド力の向上
- 合議体による意思決定の仕組みの見直し及び整理統合による迅速な意思決定の推進とガバナンス体制の改善
- 職場環境改善による教職員の活性化(教育・研究活動の活性化・業務の改善・創造)

- 建学の精神に基づいた教育の充実によるキリスト教精神に基づいた人格教育の浸透
- 適切な進路指導と情報共有の強化による、生徒一人ひとりの希望進路の実現
- 国際的視野を身に付けさせるためのグローバル教育の質的向上
- 学ぶ楽しさを実感し、自ら進んで学ぶ態度を育てるための授業づくりの推進
- 生徒の学びの質を向上させるための家庭との連携強化
- 探究的な学びの質の向上による高い思考力の育成
- 安定的な入学者獲得のための広報活動の充実
- 専任教員による授業担当比率の向上
- 生徒の安心・安全な学校生活を保証するための施設設備の計画的な取替更新及び修繕

- 社会に貢献する姿勢を身につけるための、建学の精神に基づく特色ある教育活動の展開
- 進学実績の躍進及び大学等で高い学びを実現できる生徒の育成のための、コース制における特色ある教育活動の体制の確立
- 主体的に学ぶ力を育むための21世紀型教育をリードする教育体制の構築
- 年齢構成のバランスに配慮された教育力のある教員の最適な人員構成の実現
- リーダーシップのとれる中堅教員の人材育成
- コース制を軸とした学校の特色づくりについて広く周知することによる、安定した志願者の獲得
- 生徒一人ひとりが入学から卒業まで安全で快適な学校生活を送るための、時代のニーズに即した教育環境の充実

- 礼拝・あそび・体験教育を通じた、建学の精神に基づく人間的基礎教育の実践による、主体性、社会性、協調性のある子どもの育成
- 園児の健やかな成長を促すための教員の資質向上
- 地域社会と交流する機会を設けることによる、隣人愛の精神の涵養、社会生活をよりよく生きる基礎と地域社会との信頼関係の構築
- 大学・高等学校・中学校との連携活動を通じ、将来にわたり東北学院に連なることを喜び、キリスト教の精神をもって社会生活を営む資質の育成
- 教員の最適な人員構成の実現
- 園の持続的発展の基礎となる健全な財政基盤の確立
- 快適な園生活を構築するための、施設設備計画に基づいた教育環境の整備・実現